



「尼崎の森中央緑地の森づくり」ボランティア活動

兵庫県が進める「尼崎21世紀の森構想」の取り組みの一つである「尼崎の森中央緑地の森づくり」に、尼崎工場から2022年9月と2023年3月にのべ7名が参加しました。

一般のボランティアの方や事務局の方と協力しながら、植樹や除草などを行いました。

このボランティア活動を通して、森づくりの過程や生物多様性の重要性を学ぶと同時に、自然豊かな森に育ってきていることを実感しています。また長年継続してきたこの活動が評価され、兵庫県より「SDGs賞」を受賞しています。



尼崎の森中央緑地植林活動 (尼崎工場 2022/9/16)



兵庫県SDGs賞受賞 (尼崎工場 2023/2/20)

清掃ボランティア活動

日油グループでは、工場所在地の近隣地域の清掃ボランティア活動を積極的に行っています。



中堀運河遊歩道清掃活動 (尼崎工場 2022/4/26) 富貴港清掃活動 (愛知事業所 2022/6/25)



砂川公園清掃活動 (愛知事業所 2022/10/22) 尼宝線清掃活動 (尼崎工場 2023/3/27)

「陸上自衛隊第10音楽隊ふれあいコンサート in たけとよ」を主催

愛知事業所では、武豊町ゆめたろうプラザに武豊町民400人を招き、陸上自衛隊第10音楽隊ふれあいコンサートを主催いたしました。



陸上自衛隊第10音楽隊ふれあいコンサート in たけとよ (愛知事業所 2022/8/11)

モデルロケット製作教室&打ち上げ大会「大空杯」に協賛

武豊工場では、2022年4月にゆめたろうプラザで行われたモデルロケット製作教室&打ち上げ大会「大空杯」に協賛しました。日油社員によるロケットに関する講演に続いて、参加者が製作したモデルロケットによる打ち上げ大会が行われました。



大空杯モデルロケット製作教室 (愛知事業所)



大空杯モデルロケット打ち上げ大会 (愛知事業所)



はやぶさ2プロジェクト関連イベント

日本工機(株)では、はやぶさ2プロジェクトで小惑星リュウグウに人工クレーターを生成するための小型衝突装置の開発・製造を行いました。2022年8月と11月に福島県郡山市で行われた「はやぶさ2帰還カプセル等の特別展示」と「ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2022」にそれぞれ出展しました。

また、2022年10月に開催された福島県の公民館職員や青少年教育指導員などを対象とした「福島県社会教育指導員研修会」でも講演を行い、地元根差した広報活動も実施しました。



郡山「はやぶさ2特別展示」出展 (日本工機(株))



福島県社会教育指導員研修会「はやぶさ2」講演会 (日本工機(株))



郡山「ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2022」出展 (日本工機(株))

障がい者支援

日油は社会的な責任を果たす一環として、障がい者支援に力を入れています。2023年度からパラアスリートおよびパラアーティストの活躍を支えています。

パラスポーツ

日油はトップパートナーとして日本パラ射撃連盟を支援しています。競技の普及、次世代の人材発掘・育成をサポートするとともに、パラ射撃への支援を通じて、パラスポーツの多様性と包括性を促進し、社会に貢献していくことをお約束します。



撮影：西岡浩記

パラリンアート

日油はパラリンアートアーティスト作品を統合報告書や社内報の表紙などに活用します。この取り組みによって、パラリンアートアーティストたちの社会参加と自立を促進します。双方向のコミュニケーションを深めることで、芸術と文化の領域で新たな可能性を探求し、より豊かな未来を築くことを目指します。



表紙絵について

統合報告書・サステナビリティ報告書の表紙絵は、一般社団法人障がい者自立推進機構に登録の^{まがり}大石勾さんの作品です。



統合報告書2023
『アルプスの村と熱気球』



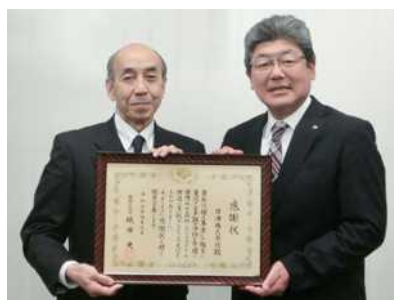
サステナビリティ報告書2023
『不知火海のうたせ船』



「緑の募金」に寄付

日油は、CSR活動の一環として、「緑の募金」の事業体である公益社団法人国土緑化推進機構への寄付による支援を行っています。同機構は、植林等による自然環境保護の分野において、わが国の中心的役割を担っていて、日油は、その事業計画に賛同し、2015年度以降継続的に支援を行っています。

今回は、この貢献に対し、2023年4月6日に同機構内において前田副理事長から日油に感謝状が授与され、古川コーポレート・コミュニケーション部長が代表して受領しました。



子供の未来応援基金に寄付

日油は、CSR活動の一環として、内閣府の「子供の未来応援基金」への寄付による支援を継続的にを行っています。本基金は、企業や個人から広く寄付を募る活動で、集まった寄付金は、公募・審査・選定した学習支援を行う団体、こども食堂、児童養護施設等、全国の支援団体にお役立ていただいています。

この貢献に対し、今年度も感謝状が授与されました。今後も、子供たちへの支援充実のために引き続き協力していきます。



各種寄付

次世代育成を目的とした寄付

- 一般社団法人日本化学工業協会「化学人材育成プログラム」(2,500千円)
- 独立行政法人福祉医療機構「子供未来応援基金」(1,000千円)
- 公益財団法人経団連国際教育交流財団「経団連グローバル人材育成スカラシップ事業」(1,000千円)
- 公益社団法人ハタチ基金(100千円)
- 特定非営利活動法人ピープルズ・ホープ・ジャパン(100千円)

地球環境保護を目的とした寄付

- 公益財団法人世界自然保護基金(WWF)ジャパン(1,000千円)
- 公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」(1,000千円)
- 公益信託経団連自然保護基金(1,000千円)
- 公益財団法人日本ナショナルトラスト(100千円)

救援金

- 日本赤十字社「トルコ・シリア地震救援金」(10,000千円)

2022年度の社会貢献活動関連費用

53,000千円 (法人税法上の寄付金25,000千円)

社外からの評価

- 東洋経済新報社「第17回CSR企業ランキング」247位
- MSCI日本株女性活躍指数(WIN)構成銘柄